



機敏な放水を披露する選手たち



練習の成果を発揮した操法



健闘を称え合う団員ら



優勝を喜ぶ指導員と選手たち

初快拳 地区大会優勝 県大会へ

第69回茨城県消防ポンプ操法競技大会県西地区大会 10月7日

消防団の消防技術の向上と士気高揚を図る「第69回茨城県消防ポンプ操法競技大会県西地区大会」が10月7日、常総市地域交流センター駐車場で開催され、県西地区の10市町から全10チーム60人の選手が消火活動の確実性や速さなどを披露する競技に臨みました。

この大会は、消防団の消防技術の向上と士気高揚を図り、消防活動の充実に寄与することを目的に毎年行われ、下妻市消防団からは、第2分団が出場し、今年6月から4か月間の厳しい訓練の成果を存分に発揮して優勝しました。

強豪ひしめく県西地区の中、同団は市として初めての優勝となる快拳を成し遂げ、11月17日に行われる県大会に県西地区代表として出場します。

【大会結果】

優勝 下妻市消防団第二分団

団長 高橋周一	第二分団長 山本重行
指揮者 中島純一	1番員 富田圭一
2番員 石倉一徳	3番員 江島亮
4番員 太布尚文	補助員 倉田誠



ポピーの種をまく参加者たち

「きれいな花で茨城国体Eポートを盛り上げたい」と、鬼怒フラワーライン（鬼怒川大形橋上流左岸河川敷）を管理運営する花と一万人の会の会員をはじめ、青龍楽校少年団や地域住民など約150人が、同河川敷の花畑でポピーの種まきに汗を流しました。

花畑にまいた種は、シャーレーポピーとカリフォルニアポピーの2種類で60万本分。種まきの後は、6月に定植したさつまいもの収穫も行われ、採れたてのさつまいもの一部は、その場でみ殻を使ってホクホクの焼き芋に調理。温かい豚汁と一緒に振る舞われ、参加者は秋の味覚を楽しんでいました。



さつまいもの収穫を喜ぶ参加者

鬼怒フラワーライン「ポピーの種まき&さつまいも掘り大会」10月21日



登山を楽しむ団員たち

9月23日、市スポーツ少年団の団員など約340人が参加して親子ふれあい筑波登山が行われました。

登山は、市スポーツ少年団が親子のふれあいと団員の交流を目的にスタートさせ、今回で16回目。ここ数年は悪天候により中止が続き、4年ぶりの開催となりました。

参加したリトルやはたスポーツ少年団の鶴沼晃平さん（5年生）は「友達と一緒に登って見た頂上の景色は、とてもきれいだった。また来年も登りたい」と話し、保護者として参加した高石由紀子さんからは「仲間と共にがんばって登頂した子どもたちの姿は、一回り大きくなった気がする」との話が聞けました。

仲間と見る頂上の景色は格別

市スポーツ少年団筑波登山 9月23日

まちなかでハロウィン

Waiwaiハロウィン 10月6・7日
しもつまハロウィン2018 10月27日

10月6・7日にはWaiwaiドームしもつまで、10月27日には、さん歩の駅サン・SUNさぬまでハロウィンイベントが行われ、子どもから大人までさまざまな仮装をした人たちがまちなかがにぎわいました。それぞれの会場では、仮装コンテストが行われ、参加者たちは、この日のために準備していた思い思いの衣装を披露していました。



しもつまハロウィンの参加者たち



兄弟でくりとぐら



フェイスペイント



Waiwaiハロウィンの参加者



窓に描かれたハロウィン



ハロウィン仕様のワークショップ

広報しもつま2018年10月号の記事に誤りがありました。お詫びして訂正します。

○11ページ:2018ITFテコンドー世界選手権大会の選手名
【誤】中山一浩さん → 【正】山中一浩さん

有料広告欄



作品を楽しむ石川さんたち

斑点のある花びらが特徴のホトギス、秋の七草で黄色の花を咲かせるオミナエシなど256点の鉢植えを展示した「秋の山野草展」が9月28～30日の3日間、小貝川ふれあい公園ネイチャーセンターで開催されました。

丹念に育てられた鉢植えは、下妻市自然愛護協会（飯村良平会長）が展示したもの。来場者は鉢植えに顔を近づけて鑑賞するなど、自然の美しさを鉢の中に凝縮した作品に見入っていました。

友人と来場した石川セツ子さん（黒駒、80歳）は「一つ一つ違いがあって面白い。それを調べるのも楽しい」とスマートフォンを使って山野草の名前を確かめていました。

個性豊かな秋の草花ずらり 秋の山野草展 9月28～30日

9月29日、ジャズナイト実行委員会主催のジャズライブ「WaiwaiJazzNight2018」がWaiwaiドームしもつまで開催され、市内外から約200人が集まり美しく力強い音色や歌で秋の夜をゆったりと過ごしていました。

ライブのトリを飾った「トニー・サグスピアノトリオ+1」のトニー・サグスさん（土浦市）は、世界的ジャズビッグバンド「カウントベイシーオーケストラ」第5代ピアニストとして活躍。ピアノトリオの演奏後、妻の碧梨さんがボーカルで登場して「ユー・レイズ・ミー・アップ」などをしっかりと歌い上げていました。会場では、ビールなどのドリンクと軽食が販売され、来場者たちは一流のジャズと一緒に楽しんでいました。



ジャズを演奏するトニーさん（左）たち

一流のJAZZで過ごす秋の夜

WaiwaiJazzNight2018 9月29日